

主催 和歌山大学 国際観光学研究センター (CTR)  
共催 和歌山大学 観光学部  
後援 スポーツ庁 (申請中)、観光庁、  
日本スポーツツーリズム推進機構  
和歌山大学観光学部同窓会「飛耀会」、  
和歌山大学経済学部同窓会「柑芦会」東京支部



観光教育研究セミナー 2019 Vol.1 in 東京

# スポーツツーリズム4

～メガイベントが日本社会を変える～

2019年

9月22日(日) 15:00～17:30  
(受付 14:30～)

フクラシア東京ステーション 5階会議室L

(〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-1 朝日生命大手町ビル  
\*JR 東京駅/地下鉄大手町駅地下直結)



定員 100名 参加費 無料 ※事前の申し込みが必要です。下記をご参照ください。

基調講演 「Sports, events and sustainable development  
スポーツ、イベントと持続可能な発展」

講師



ジェームス・ハイアム

ニュージーランド・オタゴ大学観光学部 教授

パネルディスカッション 「Mega-events, lifestyle sports, and Japan: Opportunities and challenges for gender equality and post-disaster recovery  
メガイベント、ライフスタイルスポーツと日本:ジェンダー平等と災害復興のための機会と挑戦」

パネリスト

奥本英樹

福島大学 経済経営学類  
教授

コメンテーター ジェームス・ハイアム

水野英莉

流通科学大学 人間社会学部  
准教授

モデレーター アダム・ドーリング

和歌山大学 観光学部 准教授、  
同 国際観光学研究センター 研究員

# プログラム

- 14:30 受付開始・開場
- 15:00 開会挨拶 加藤久美 (和歌山大学 国際観光学研究センター センター長、同学 観光学部 教授)
- 15:10 基調講演 \*講演は英語で行われます(日本語による講演スライドあり)。  
「Sports, events and sustainable development スポーツ、イベントと持続可能な発展」  
ジェームス・ハイアム (ニュージーランド・オタゴ大学 観光学部 教授)
- 16:10 休憩
- 16:25 パネルディスカッション \*一部、逐次通訳が入ります。  
「Mega-events, lifestyle sports, and Japan:  
Opportunities and challenges for gender equality and post-disaster recovery  
メガイベント、ライフスタイルスポーツと日本:ジェンダー平等と災害復興のための機会と挑戦」  
パネリスト : 奥本英樹 (福島大学 経済経営学類 教授)  
水野英莉 (流通科学大学 人間社会学部 准教授)  
コメンテーター: ジェームス・ハイアム  
モデレーター : アダム・ドーリング (和歌山大学 観光学部 准教授、同 国際観光学研究センター 研究員)
- 17:25 閉会挨拶 伊藤央二 (和歌山大学 国際観光学研究センター 副センター長 / Tourism & Sports ユニットサブリーダー、同学 観光学部 准教授)

## 基調講演 講師紹介



### ジェームス・ハイアム Dr. James Higham

ニュージーランド・オタゴ大学 観光学部 教授

主な専門はスポーツツーリズム, サステナビリティ。「Sport Tourism Development」や「Sport and Tourism」といった英語圏の大学でスポーツツーリズムの教科書として使用されている著書を執筆。また、国際的トップジャーナル「Journal of Sustainable Tourism」の編集長を務める。

#### ●基調講演 要旨 (日本語訳)

スポーツイベントはポジティブおよびネガティブな結果の両方をもたらす可能性を秘めているが、小規模な地域イベントと大規模なメガイベント(ラグビーワールドカップ2019, 東京五輪2020等)ではその影響も異なる。本セミナーでは、まずスポーツの定義としてBale(1989)のアプローチに基づき、スポーツ現象の幅広さと多様性を概説する。そして、スポーツのダイナミクスと社会におけるスポーツの機能の絶え間ない変化について、競技スポーツとレクリエーションスポーツのコントラストから考察する。この基礎的概念に基づき、現代スポーツイベントの多岐にわたる課題と持続可能な発展の可能性を探る。また、国連の提唱する持続可能な開発目標(SDGs)の枠組みを用い、スポーツイベント、観光、SDGsの複雑な関係性を紐解く見解を示し、批判的考察が求められるスポーツ、観光、持続可能な発展における社会的・環境的知見についての議論を行う。

## パネリスト紹介



### 奥本英樹 (おくもと ひでき)

福島大学 経済経営学類 教授

1967年大阪府高槻市生まれ。研究領域はコーポレートファイナンス。学問領域上の専門のほか、自然環境への配慮をテーマとした地域経済活性化プランとして「南相馬市サーフトゥリズム」を提唱。福島県産業廃棄物経理的基礎審査検討会委員や南相馬市サーフトゥリズム推進委員会委員を務めるなど、サーファー、市民、行政、観光・商工業者などが連携し、海の年間活用を通じた、地域振興と市民価値向上の達成を目指す。また、地域の観光資源を活かしたまちづくり、理想的な地域内モビリティの実現に邁進する。主な著書に『ビジネスファイナンス論』(学文社)、『基本商業簿記演習』(創成社)など。



### 水野英莉 (みずの えり)

流通科学大学 人間社会学部 准教授

京都大学大学院文学研究科行動文化学専攻社会学専修博士後期課程修了。博士(文学)。専門社会調査士。中京大学先端共同研究機構体育研究所特任研究員。専門は、社会学、ジェンダースタディーズ。日本スポーツとジェンダー学会理事、日本スポーツ社会学会研究委員会委員などを務める。著作として、「Surfing, sex, genders, and sexualities」(共著、Routledge)「よくわかるスポーツとジェンダー」(共著、ミネルヴァ書房)、「よくわかるスポーツ文化論」(共著、ミネルヴァ書房)、「データでみるスポーツとジェンダー」(共著、八千代出版)、「ライフスタイルスポーツとジェンダー—日本・アメリカ・オーストラリアのサーフィン選手の経験と女性間の差異」(日本スポーツとジェンダー学会第1回学会賞受賞)など。

## 参加申し込み

右記QRコードより申込フォームに必要事項を入力のうち、お申し込みをお願いします。



また、Eメールでも申し込みを受け付けます。本文に「セミナー名」「お名前(フリガナ)」「所属」「ご連絡先電話番号」をご記入のうち、右記までお申し込みください。また本セミナーの参加に際し、何らかの支援または情報保障等の配慮が必要な方は、申し込みの際にお知らせください。 \*参加申込期日: 2019年9月17日(火) 17時

## お問い合わせ先

和歌山大学 国際観光学研究センター

〒640-8510 和歌山市栄谷 930 西1号館1階

TEL : 073-457-7025 FAX : 073-457-7886

E-mail : info-ctr@ml.wakayama-u.ac.jp

HP : <https://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/>